

精神障害者の自立を支援

地域生活支援センター「ゆー・あい」10月1日オープン

「地域生活支援センター」は、精神保健法に定められた精神障害者社会復帰施設です。地域に生活する精神的な障害をもつ方を対象に、日常生活支援や相談のほか、オープンスペースでお茶を飲みながらおしゃべりしたり、時には一緒に食事したり、地域での社会生活をより充実して過ごしていただくための憩いの場です。精神科に通院中の方で日中に行く場所がなかったり、人との付き合いがうまくできず外に出られない方が気軽に立ち寄れる場所をめざしています。

日)から開始します。まずはお電話でどうぞ。

◆運営主体 社会福祉法人三鷹福祉会(旧三鷹授産所)

◆所在地 上連雀4-1-1 福祉コア 3階

◆開所時間 午前10時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

◆利用者負担金 登録料300円、利用料月額100円(センターの光熱水費、活動保険加入費などに充てます。このほか飲食費などは個人負担です。くわしくは同センター☎43-9047へ。

専門職員による相談業務は9月18

福祉相談窓口

「さぼーと」を開設

高齢者や障害者の方が安心して日常生活を送れるよう支援する「地域福祉権利擁護事業」(成年後見制度の制度紹介や福祉相談の窓口を開設しています。電話相談や開所などへの出張相談も受け付けています。お気軽にご利用ください。毎週月・木曜日午前10時～午後1時・午後4時 福祉会館。

福祉バザー

福祉バザーは、市内の福祉施設、ボランティア団体と協力して10月6日(日)市役所中庭でバザーを開催します。①新品衣料、②日用雑貨(食料品は除く)、③小型の家

物品提供のお願い

社会福祉協議会では、市内の福祉施設、ボランティア団体と協力して10月6日(日)市役所中庭でバザーを開催します。

地域センター「ゆき苑」

高齢者センター「ゆき苑」は、地域福祉権利擁護事業(成年後見制度の制度紹介や福祉相談の窓口を開設しています。電話相談や開所などへの出張相談も受け付けています。お気軽にご利用ください。毎週月・木曜日午前10時～午後1時・午後4時 福祉会館。

一般寄付

- 2万円 吉野壽夫 1万円の 崎田・Y 2千円 永山敬子 5千円 中村美寿 8千円 指田ミサ子 3千円 小畑純子 5千円 黒川智子 4万4千円 森山金蔵 2千円 佐藤剛子 4万4千円 三鷹市会 2千円 中野三菜菜 3千円 野田 大時子 4千円 三鷹市会 2千円 1万3千円 藤いなり 三鷹市会 1万円 西原重 3千円 三鷹市赤十字会 3千円 匿名(2件)

愛の「田玉基金」

4千円 東明会 4千円 下藤秀子 5千円 四ツ雲さくら 2万円 三鷹市会 2万円 中野三菜菜 2千円 野田 大時子 4千円 三鷹市会 2千円 1万3千円 藤いなり 三鷹市会 1万円 西原重 3千円 三鷹市赤十字会 3千円 匿名(2件)

福祉基金

10万円 匿名

ボランティア基金

5万8千円 古町手付者同

総合オンブズマン相談室

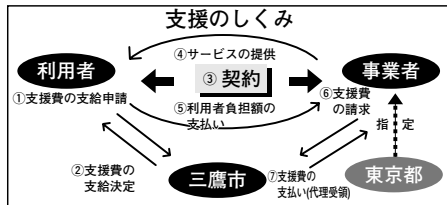
市政のごことで、あなた自身の利害に関わる苦情がありましたらお気軽にご相談ください。市役所2階 ☎内線2215・FAX48-2810

相談日 担当総合オンブズマン
9月5日(木) 山崎 源三さん
9月12日(木) 池田理知子さん
9月19日(木) 山崎 源三さん
9月26日(木) 池田理知子さん

※時間は午後1時30分～4時30分。
▶予約制です。事前にご連絡ください。

支援費の対象となるサービス

Table with 3 columns: サービス名, サービス内容, 対象者. Includes categories like 居宅サービス, 施設サービス, 知的障害者, 障害児, etc.



支援のしくみ

平成15年4月から、障害者福祉制度の一部が、利用者の自己決定を尊重した「支援費制度」に移行します。これまでの福祉サービスの内容について都や市が決定する「措置制度」でしたが、支援費制度では障害のある人がサービスを選択し、事業者との契約によってサービスを利用することになります。

心身障害者 福祉手当などの

市では制度の改正に伴い、次の手当ておよび助成を受けている方の現況届を今年度から廃止します。
◆対象者 三鷹市心身障害者 具・電化製品などの提供をお願いします。
○同センター ☎54-544

現況届の廃止について

福祉手当受給者、三鷹市福祉タクシー利用者助成を受けている方、三鷹市心身障害者自動車等燃料助成を受けている方

度(の)くわい内容を掲載した

「障害者福祉だより」を郵送します。
⑥の支援費の請求・支払い
事業者は、提供したサービスの支援費(利用者負担額を除く)を市に請求し、市は事業者が支援費を支払います。
これら障害者福祉サービスを受けていた人も、平成15年4月から支援費の対象となるサービスを利用する場合は、それまでに改めて申請する必要があります。ただし、現在施設に所入または通所している方は、平成15年4月から1年間継続してサービスを利用できます。
※身体障害者手帳・愛の手帳をお持ちの方には支援費制度

支援費制度説明会を

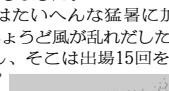
9月20日(木)開催
現在、障害者福祉サービスを受けている方や家族などを対象に、制度の概要などについて説明会を開催します。
▽①9月20日(金)午後6時30分～8時
▽②9月24日(月)午前10時～11時30分
いずれも市役所第二庁舎412号会議室で(①②とも同じ内容です。
☎内線2617

2002年「鳥人間コンテスト」で

三鷹のグループが連続優勝

7月28・29日に琵琶湖で開催された「第26回鳥人間コンテスト」(読売テレビ主催) 滑空機部門で、「みたかもぼろアドベンチャーグループ」が昨年に引き続き連続優勝を果たしました。

当日の29日はたいへんな猛暑に加え、フライト時はちょうど風が乱れたタイミング。しかし、そこは出場15回を超えるベテラン。プラットフォーム上での素晴らしい加速から地面効果を生かしてぐんぐん距離を伸ばし、昨年同グループが出した世界記録417.49分にわずかに及ばなかったものの、2位の361.65%をはるかにしのぐ414.33%という圧倒的な強さで2年連続3回目の快挙を見せました。「風向きが良かったら、あと30%は飛べたでしょう。技術は昨年より確実に進歩しています」と代表の木村啓三さん。来年の挑戦に向けて、今年中にも機体の改良に取り掛かるとのこと。来年はどんなフライトを見せてくれるのでしょうか。



ホームページづくりに取り組み



先生たちの「コンピュータ研修」

市内の小学校に、小学校15校に約60台、中学校7校に約30台、合計1千台近くのパソコンが設置されている。すべての学校が文部科学省「総務省の行う「学校インターネット」に参加している。IBM国際財団の提携で進められている「学習者・家庭・地域連携インターネット」のプロジェクトも多くの学校に広まるとしている。この恵まれた環境を子どもたちのために活用するか、先生たちの熱い夏が終わって、明日からの学期が始まる。

夏休みの間、三鷹市教育

センター2階の情報処理室では、市内の小・中学校の教師が集まったのは、「ホームページ作成コース」研修講座が毎日のように開催されていた。

先生の研修

研修講座は、市内の小・中学校の教師たちが研修に取り組み、熱心に研修に取り組む先生たち、インターネットを学ぶための活用テクニックを学ぶコースから、学校のホームページの更新やデジタル画像の管理方法を学ぶコース、学校のネットワーク構築やシステム管理法を学ぶコースなど、初級から上級までの5コースがあり、全体で約100名が参加した。

先生たちの「コンピュータ研修」

市内の小学校に、小学校15校に約60台、中学校7校に約30台、合計1千台近くのパソコンが設置されている。すべての学校が文部科学省「総務省の行う「学校インターネット」に参加している。IBM国際財団の提携で進められている「学習者・家庭・地域連携インターネット」のプロジェクトも多くの学校に広まるとしている。この恵まれた環境を子どもたちのために活用するか、先生たちの熱い夏が終わって、明日からの学期が始まる。